

「やまがた子育て応援プラン」

平成22年度～26年度（平成22年3月策定）
山形県次世代育成支援行動計画（後期計画）

本プランは、平成17年に策定された前期計画に続く後期計画で、「次世代育成支援対策推進法」、「山形県子育て基本条例」に基づき策定されたものです。山形県では人口減少が進行し、子育て支援や少子化対策が県政の最重要課題となっており、ぜひ県民の皆様も一緒に取り組みましょう。

1 応援プランの内容

- 子どもにとって……子どもがひとりの人間として尊重され、夢と希望を持って成長できる社会
- 親にとって……子どもを生み、育てたいと思うすべての人が、愛情と喜びを持って安心して出産・子育てができる社会
- すべての県民にとって……子どもは、「未来への希望」、「社会の宝」という思いを共有し、県民総ぐるみとなって、子育て、子どもの育ちを応援する社会



2 応援プランの体系

- (1) 子育て家庭に対する支援……情報提供、子育て支援サービスの充実、経済的支援の充実など
- (2) 社会全体による子育て支援……県民運動の展開、子育てしやすい生活環境の整備促進など
- (3) 仕事と家庭の両立の推進……保育サービス等の充実、企業等における両立支援の推進など
- (4) 若者が活躍する地域づくりの推進……働く場の確保及び就労支援、若者が活躍できる風土づくりなど
- (5) 晩婚化・未婚化への対応策の推進……出会い・結婚につながる支援の充実、次代の親としての家庭観の醸成など

3 県民一人ひとりの取組みが大事な「子育て支援」

- 【家庭では】**……愛情と責任を持って、心豊かな子どもを育てます。
- 【地域では】**……ご近所どうしのつきあいや町内会などで、子どもの育ちを支えます。
- 【保育所・幼稚園・学校では】**……体験活動を通して、次代を担う社会人となるよう育みます。
- 【企業・事業所では】**……子育てをしながら、安心して働くことができる職場環境をつくります。
- 【市町村は】**……関係団体と連携しながら、住民ニーズに対応したきめ細かい施策を展開します。
- 【県民の皆さんは】**……一人ひとりができることから、応援活動を実践します。
- 【山形県は】**……「子育てするなら山形県」と実感できる総合的な施策を推進します。



最上総合支庁の組織再編について 「子ども家庭支援課」をよろしくお願ひします。

最上総合支庁では、保健・福祉の連携強化、子育て支援や少子化対策の推進、危機管理体制の充実等を図るため、平成22年4月1日より、次のように組織体制が再編されましたのでお知らせします。青少年育成推進業務が関わる、新しくスタートした「子ども家庭支援課」へのご支援とご協力をよろしくお願ひします。

21年度で廃止	22年度から新設
総務企画部 地域支援課	総務企画部 地域振興課
保健福祉環境部 福祉課	保健福祉環境部 地域保健福祉課
保健福祉環境部 地域保健予防課	保健福祉環境部 子ども家庭支援課（北庁舎2階）

新設された「子ども家庭支援課」の主な業務

- ・ 青少年の健全育成に関すること
- ・ 少子化対策に関すること
- ・ 児童福祉に関すること
- ・ 家庭児童相談室に関すること
- ・ 男女共同参画に関すること
- ・ 母子保健に関すること
- ・ 母子福祉資金に関すること
- ・ DV支援センターに関すること

